

森のひろば

NO.1007

22年1月

近畿中国森林管理局



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763
http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/

年頭のご挨拶

近畿中国森林管理局長 朝比奈 清

2010



生可能で成素を固定する木材や木質バイオマスの供給源などとしても注目され、森林に対する国民の関心も一層高まってきたのではないかと思います。

我が国は国土の約7割が森林に覆われる森林国ですが、その4割を占める戦後植栽された人工林は成熟期を迎えつつあります。地球温暖化対策にも貢献する健全な森林にしておくためには、間伐をはじめとする適切な森林管理を行い、生物多様性に富む多様な森林づくりを行っていく必要があります。また、このためには間伐材も含めた国産材の利用拡大を図っていくことも不可欠です。

平成22年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。
皆様には、ますます御健勝で新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
さて、昨年を振り返りますと、一昨年の秋のいわゆるリーマン・ショックに端を発した不況が国内の林業・木材業界に深刻な影響を及ぼした年でありました。特に、新設住宅着工戸数の落ち込みが大きく、これに伴う木材需要不振や価格の下落により、林業・木材業界の採算性が一層低下するなど極めて厳しい状況となりました。

一方で、森林は水源かん養や災害防止、癒しの場といった機能のほか、地球温暖化を防止する二酸化炭素吸収源としての役割や、再

近畿中国森林管理局では、こうした情勢を踏まえ、①間伐等の森林整備事業の積極的推進、②森林共同施業団地など民有林と国有林の連携、③低コスト路網と高性能機械の組合せによる効率的な森林整備と木材の安定供給、④里山の再生や森林の生物多様性向上、⑤森林環境教育や「森林の市」の開催等を通じた森林・林業や木材利用のPRなどに積極的に取り組んで参りました。
また昨年は集中豪雨等による大規模な災害が発生し、多数の犠牲者や山地災害をもたら

しました。近年、このような気象災害が多発しており、人々の暮らしの安全・安心を確保するため、災害に強い森林づくりや施設整備が大切であると再認識しているところです。

本年におきましても引き続きこのような取り組みを着実に進めていくとともに、新たな工夫により、健全な森林・林業・木材産業や地域の活性化に貢献できるよう局挙げて努めて参る所存ですので、皆様方の一層の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様方の本年の御多幸と御健勝を祈念いたしまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。



オクワガタの棲める森づくりの取組の一貫として行われた小学生らによるドングリ拾い (箕面国有林)



近畿中国森林管理局長・兵庫県知事・森林農地整備センター近畿北陸整備局副局長の3者による「美しい森林づくりに関する覚書」を締結

トピックス

国有林野管理審議会の開催

【近畿中国森林管理局】 11月5日、近畿中国森林管理局大会議室において、第99回国有林野管理審議会を開催しました。

国有林野管理審議会は、森林管理局長の諮問に応じ、国有林野の管理及び処分について調査審議し、意見を述べることを目的とする森林管理局の附属機関で、学識経験者や地方公共団体、関係行政機関の委員計15名で構成されています。



審議案件の説明に聞き入る委員

当日は、審議に先立ち空席となっていた会長選出を行い、新会長として水原京都府立大学名誉教授を選出しました。その後、水原会長と朝比奈森林管理局長が挨拶した後、審議案件の現況等について説明。

委員からは「市の都市計画マスタープランとの調整」や「売払い後の市道工事における法面緑化」などについて意見が出され、慎重な審議が行われました。

その結果、審議案件については諮問どおり承認され、審議会会長から森林管理局長に答申されました。

今回の審議案件は次のとおり

◎ 第480号議案

楊梅山国有林の一部を道路用地として高槻市に売却すること。

地域ニュース

くろこ
「黒河山国有林をきれいに！」OBが
清掃活動で大活躍

【福井森林管理署】 11月5日、大阪地方国有林退職者の会敦賀支部（中谷孝男支部長）の会員と敦賀旭土建株式会社の職員、当署の職員の21名が参加し、敦賀市の近郊林である黒河山国有林の黒河林道周辺の清掃作業を行いました。

当日、午前9時に現地集合し、まず当署総務課長が「清掃活動にご協力いただき有難うございます」と謝意を述べ、次いで中谷支部長が「我々が現役時代にお世話になった黒河山国有林でOBが集えることを嬉しく思います。みんなで黒河山をきれいにしましょう」と黒河山国有林への思いと清掃活動への意気込みを語りました。



回収した不法投棄ゴミを分別する参加者

松原森林官の作業説明の後、約8kmの区域を4班に分かれ、不法投棄ゴミの回収作業を開始しました。2時間の作業で放置バイク、古タイヤ、空き缶、クーラー、パソコン、テレビ等の不法投棄ゴミを回収し、全員で苦戦しながらも分別作業を行い、4t車1台と2tトラック1台を満杯にして、市内の清掃センターや処分場へ持ち込み作業を終えました。

作業数日前から現地踏査、地元敦賀市への協力依頼等に積極的に活動していただき、当日も元気に活躍されるOBのみなさんに感謝する一日でした。

関連ホームページ

<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/hukui/>

第20回ふれあい森林教室の開催
(児童がじっちゃん、ばっちゃんと世代交流)

【島根森林管理署】 さわやかな秋晴れの中、安来市立南小学校（松田美保子校長）5年生児童19名を安来市の美しい里山整備モデル林「安寿の森吉田」として設定されたエリア（吉田国有林8ha）内の東屋^{あすまや}がある広場（2林班）に迎え「第20回ふれあい森林教室」を開催しました。

ふれあい森林教室は、安来市立南小学校並びに吉田寿会（小川規矩夫会長）の方々及び当署が平成2年から19年間にわたって継続して取り組んでいる行事で、この日は、地元安来市から近藤宏樹市長にもご参加いただき、ヤマモモの大苗木3本を東屋の東側に位置する歩道沿いの林内に、記念植樹しました。

慣れない手つきでスコップを握る子ども達は、額に汗をかきながら、将来苗木が大きくなり、大粒のヤマ

モモが食べれるように、期待を込めて植樹を行い、各のサイン入りの標柱を埋設しました。

職員による紙芝居では、「森林からの贈り物」と題して、森林の働きや木材生産の森林を作るために必要な事などについて、理解を深めてもらう為に、クイズと、



木の幹に巣箱をかける様子



巣箱を作る児童達

どんぐりのプレゼントも交えながら子供らの笑顔と熱い視線を引きつけていました。

巣箱作り体験は、4班に分かれ、巣箱の材料になる板をノコギリで、切ることを職員や吉田寿会の方々からつだってもらい、戸惑いながらも出来上がった巣箱にそれぞれ名前を書き込み、完成した巣箱を達成感の表情でみてました。

巣箱を完成した後、近くの森から野鳥の声が聞こえる林内に、ハシゴを利用して、1個ずつ鳥に利用してもらえるように、それぞれ思いを込めて、かけていきました。その他、森林散策しながらのネイチャーゲームに児童や引率の先生方も熱中し、すっかり森のファンになっていました。

閉講式では、参加した子ども達から「きょうは、森林のことがたくさん勉強でき、楽しかったです。巣箱作りの体験もできて、いい思い出になりました」と感想があり、いろんなことを学んだ子ども達は、「ありがとう。さようなら」と元気な声で大きく手を振って帰っていきました。

関連ホームページ

<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/shimane/>

旧城山国有林で森林教室開校!

(ゲームと木の実拾いで秋の里山を満喫)

【鳥取森林管理署】前日の雷雨から一転、秋晴れの好天に恵まれた10月15日、鳥取市にある旧城山国有林「遊々の森」に鳥取市立中ノ郷小学校の1年生66名を迎えて森林教室(森のハイク)を実施しました。この「遊々の森」は、平成16年に鳥取森林管理署と中ノ郷小学校で協定を締結したもので、「GO・郷・ふれあいの森」と名付けられています。以来、森林内での様々な体験活動を通じて、人々の生活や環境と森林

との関係について理解と関心を深めるためのフィールドとして活用されています。

さて、当日は、「山に入るのは初めて」という児童が大半を占めるなど、少々緊張気味の面持ちの子どもたちでしたが、岸田次長の歓迎の挨拶に続き、横山インストラクターの「じゃんけんゲーム」で一気に緊張がときほぐれた様子。原田森林官の「森の歩き方」の説明をわくわくした表情で聞いた後、担当職員を先頭に5~6名の12班編成で遊歩道を散策しながら一路、雁金山(△140m)の頂上を目指しました。

途中、人工林ゾーンでは、遊歩道端に置かれた鉛筆や消しゴムなど日頃の勉強で慣れ親しんだ文具を探す「ネイチャーゲーム」を体験、隠れたものを発見する喜びを、それぞれの表現で楽しんでいました。



ゲームを通じて自然を満喫する児童達



遊歩道を歩き頂上を目指す児童達

また、中腹以降の天然林ゾーンではコナラやクヌギの「どんぐり拾い」に夢中となり、ガイド役の職員も進行に四苦八苦。腕白盛りの子もたちの元気の良さに圧倒されながら、無事に頂上にたどり着いたときには、スタッフは皆安堵の表情でした。

頂上では、どんぐりに関する〇×ゲームで一喜一憂。鳥取市内を一望する雁金山山頂に大きな歓声が響き渡りました。

あっと言う間に過ぎた2時間の行程。小学校までの帰り道では、一生懸命集めたどんぐりの袋を片手に「また遊びにきたい」「今度は家族で登りたい」「集めたどんぐりで作る工作が楽しみ」などの感想を語り合う声が途切れることはありませんでした。

関連ホームページ

<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/tottori/>

社寺修復に使用の植樹ヒノキ観察 (春日奥山古事の森散策と興福寺特別参拝)

【奈良森林管理事務所】社寺の修復に使う樹齢200~400年の木材を確保するために奈良市内の地獄谷国有林に設定した、「春日奥山古事の森」で奈良県内や京都市、大阪市から参加した20人が、植樹した木の生育状況を見ながら林内を散策しました。

参加者は、「春日奥山古事の森」の高さ2m程に成長したヒノキの生育を観察した後、紅葉した柳生街道、春日原始林を散策しました。

また、世界遺産に登録されている興福寺の特別参拝では、東金堂と国宝館を見学し、住職から興福寺の歴史や仏像についての話があり、参加者はメモを取りながら熱心に聞いていました。

参加者から「奈良は木造建築物の宝庫。後世に残せるよう雑草の下草刈りにも協力したい」等の感想が寄せられ、有意義な一日となりました。



柳生街道を散策する参加者



参加者で記念撮影

関連ホームページ
<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/nara/>

森林の多様性保全型 低コスト林業検討会の開催

【和歌山森林管理署】11月18日、保護伐実施箇所において人工林の生物多様性保全機能を高めつつ持続可能な林業生産のための低コスト化を図る森林施業方法等の試験・検討を行い、今後の人工林の扱い方の一例を事業の中で示すことを目的とし、学識経験者等を委員とする「森林の多様性保全型低コスト林業検討会」を開催しました。



AM: 前方の現地を見ながら説明に聞き入る参加者



PM: 委員の方々の意見交換会の様子

今回は、6月に行った第1回検討会における保護伐等の実施方法や植生調査方法の検討結果を踏まえ、西ノ河国有林での実施状況から、①伐採から搬出までの低コスト化、②再造林の低コスト化、③森林の生物多様性保全（植生調査）について検討しました。午前中は現地での検討を行った後、午後からは場所を移して意見交換を行いました。委員からは「下刈の簡略化」等について活発な質問が出され、有意義な検討会とな

りました。次回は来年秋、保護伐等の事業実施結果と植生と植栽調査状況について検討会を開催する予定です。

関連ホームページ
<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/wakayama/>

なめらやま 滑山国有林で育樹活動（ニッセイの森）

【山口森林管理事務所】滑山国有林（山口県山口市徳地）において、日本生命保険相互会社山口支社の社員や当所職員、総勢百二十三人が参加して除伐や下刈りなどの育樹活動を行いました。

安全作業について説明を行い、防蜂網を被って作業を始めると、真剣な眼差しで鎌を握って作業に打ち込み、自分の刈った箇所を見て「気持ちいいですね。」との声が聞こえてきました。その一方で、不慣れな道具での作業からか、「この鎌、なぜ切れないのですか。」と四苦八苦しながら職員の指導を受けている光景も見受けられました。



先輩の指導のもと慣れない手つきで雑草を刈る子供達

昼食後の紙芝居では、子供達が若手職員の巧みな技術とパフォーマンスに見入り、初めて食べるアケビを頬張りながら森林の役割について学習しました。

また、その後に開催した木工教室では、森林インストラクターによる指導のもと、終了時間を忘れてモックン等の制作に取り組んでいました。

関連ホームページ
<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/yamaguchi/>

お知らせ

もり 森林のギャラリー（局庁舎1階）

【展示スケジュール】

1月29日まで 管内スキー場展

2月1日～2月12日

「グループ対抗里山デジカメ選手権」入賞作品展示

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>